

令和7年7月13日(日)施行

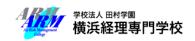
第 219 回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解答

第1問

	借方科目	金額	貸 方 科 目	金額
1	受 取 利 息	15, 000	未収利息	15, 000
2	クレジット売掛金 支 払 手 数 料	485, 000 15, 000	売 上	500, 000
3	当 座 預 金電子記録債権売却損	95, 000 5, 000	電子記録債権	100, 000
4	支払リース料	200, 000	普 通 預 金	200, 000
5	備 品 修繕引当金 修繕費	300, 000 400, 000 100, 000	当 座 預 金	800, 000
6	普 通 預 金	50, 000	他店商品券	50, 000
7	損 益	825, 000	繰越利益剰余金	825, 000

第2問

期首資本金	期 末 売 掛 金	期末繰越利益剰余金	当 期	純 利 益
¥ 887,000	¥ 970,000	¥ 808, 000	¥	385, 000



商品有高帳

Q 商品

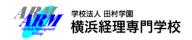
令	和	松	- 111		受	入			払	出			残	高	
7	年	摘	要	数量	単価	金	額	数量	単価	金	額	数量	単価	金	額
6	1	前月	繰越	900	620	558,	000					900	620	558	, 000
	4	青	森	1, 500	660	990,	000					2, 400	645	1, 548	, 000
	6	青	森					150	660	99	,000	2, 250	644	1, 449	, 000
	9	広	島					1, 450	644	933	, 800	800	644	515	, 200
	10	広	島	200	644	128,	800					1,000	644	644	, 000
	18	秋	H	1,000	650	650,	000					2,000	647	1, 294	, 000
	24	岡	Ц					1, 500	647	970	, 500	500	647	323	, 500
	30	次月	繰越					500	647	323	, 500				
				3, 600		2, 326,	, 800	3,600		2, 326	6, 800				

注 摘要欄には、取引先を記入すること。ただし、「〇〇株式会社」の株式会社は省略し、「〇〇」でよい。

純 売 上 高	売 上 原 価	売上総利益(粗利益)
¥ 3, 450, 000	¥ 1,775,500	¥ 1, 674, 500

第4問

1	2	3
ウ	土	1



精 算 表

	残高詞	式算 表	整理	記入	損益割	十算 書	貸借対	対照表
勘定科目	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	397, 000			22,000			375, 000	
当 座 預 金	330, 000						330, 000	
電子記録債権	230, 000						230, 000	
売 掛 金	370,000			50,000			320, 000	
貸倒引当金		7, 000		4,000				11,000
売買目的有価証券	352, 000		28, 000				380, 000	
繰 越 商 品	275, 000		260, 000	275, 000			260, 000	
仮払法人税等	75,000			75, 000				
備品	800,000						800, 000	
備品減価償去累計額		300, 000		100, 000				400,000
買 掛 金		248, 000						248, 000
仮 受 金		50,000	50,000					
借 入 金		500, 000						500, 000
資 本 金		900, 000						900, 000
資本準備金		150, 000						150, 000
利益準備金		50,000						50, 000
繰越利益剰余金		36, 000						36,000
売 上		3, 873, 000				3, 873, 000		
受取手数料		263, 000	25,000			238, 000		
仕 入	2, 277, 000		275, 000	260, 000	2, 292, 000			
給 料	617,000				617, 000			
支 払 家 賃	230, 000			45, 000	185, 000			
水道光熱費	327, 000		12,000		339, 000			
消耗品費	82,000			19,000	63, 000			
支 払 利 息	15,000		5, 000		20,000			
	6, 377, 000	6, 377, 000						
雑(損)			10, 000		10,000			
貸倒引当金繰入			4, 000		4, 000			
減価償却費			100, 000		100, 000			
有価証券運用損益				28, 000		28,000		
(消 耗 品)			19, 000				19, 000	
(前 払)家賃			45, 000				45, 000	
(未 払)利息				5, 000				5, 000
(前 受)手数料				25, 000				25, 000
法 人 税 等			150, 000		150, 000			
(未 払)法人税等				75, 000				75, 000
当期純(利 益)					359, 000			359, 000
			983, 000	983, 000	4, 139, 000	4, 139, 000	2, 759, 000	2, 759, 000

學校法人 田村学園 横浜経理専門学校

令和7年7月13日(日)施行

第219回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解説

第1問

1. 前期末に見越し計上していた利息の未収分の仕訳

	(借)	未	収	利	息	15, 000	(貸)	受	取	利	息	15, 000
再	振替仁	上訳と	は、	前期	末に	テった仕訳の逆仕 詞	沢を行い	、適	正な	損益	計算	を行うこと
	(借)	受	取	利	息	15, 000	(貸)	未	収	利	息	15, 000

2. クレジットカードによって商品を売り上げた場合には、クレジット売掛金勘定を用いて処理を する。また、クレジット会社に対する手数料は、販売時に認識することとしたため、支払手数料 勘定を用いて処理をする。

支払手数料の金額 ¥500,000×3%=¥15,000 クレジット売掛金の金額 ¥500,000-¥15,000=¥485,000

3. 電子記録債権の取引銀行への譲渡記録を行った場合には、電子記録債権勘定の減少の処理をする。取引銀行から利息相当額等¥5,000を差し引かれた残額が、当座預金口座へ振り込まれたとあるので、利息相当額等¥5,000は電子記録債権売却損勘定を用いて処理をし、残額¥95,000は当座預金勘定を用いて処理をする。

残額の計算 電子記録債権¥100,000-利息相当額等¥5,000=¥95,000

4. リース取引には、取引条件によって、ファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース 取引に分類される。

オペレーティング・リース取引として、リース料を支払った場合は、賃貸借処理をおこなうため、ファイナンス・リース取引で用いるリース資産勘定やリース負債勘定を用いることはなく、 支払リース料勘定(費用)を用いる。

なお、オペレーティング・リース取引での契約締結時、仕訳は行わない。

5. 固定資産の修繕と改良のために支出した金額のうち、資本的支出であるのか収益的支出であるのかによって、会計処理が異なる。

改良のための支出とは、資産の価値の増加や耐用年数の延長を目的で要した部分の金額であり、資本的支出として備品勘定の増加の処理をする。

修繕のための支出については、通常の維持管理や原状を回復する目的で要したと認められる部分の金額については、収益的支出として修繕費勘定を用いて処理をする。なお、修繕のために修繕引当金が設定されている場合は、修繕引当金を超えて支払った支出について、支払い時の修繕費として処理をする。

修繕費勘定を用いて処理をする金額 修繕のための支出¥500,000-修繕引当金¥400,000 =¥100,000

- 6. 商品を販売したときに受け取っていた地域商工会共通商品券について、地域商工会に代金を請求し、代金が振り込まれた場合には、他店商品券勘定の減少の処理をする。
- 7. 当期決算において、当期純利益を算定した場合には、損益勘定の借方から繰越利益剰余金勘定の貸方へ振替えの処理をする。

學校法人 田村学園 横浜経理専門学校

第2問

[売上勘定]

損益勘定への振替え金額 貸方合計¥9,538,000 - 売上戻り¥263,000 = 損益勘定への振替え金額¥9,275,000 (純売上高を意味している)

「仕入勘定]

借方の繰越商品の金額は、期首商品棚卸高をあらわしている。

よって、期首貸借対照表の商品(繰越商品)の金額である。¥442,000

貸方の繰越商品の金額は、期末商品棚卸高をあらわしている。

よって、期末貸借対照表の商品(繰越商品)の金額である。¥535,000

損益勘定への振替え金額 期中総額¥6,550,000+繰越商品¥442,000=借方合計¥6,992,000

借方合計¥6,992,000-仕入戻し¥258,000-繰越商品¥535,000

=損益勘定への振替え金額¥6,199,000(売上原価を意味している)

[損益勘定]

貸方合計 売上勘定からの振替え金額¥9,275,000+その他収益¥3,133,000=¥12,408,000 借方金額 仕入勘定からの振替え金額¥6,199,000+その他費用¥5,824,000=¥12,023,000 差額 貸方合計¥12,408,000-借方金額¥12,023,000=<u>当期純利益¥385,000</u> この金額が繰越利益剰余金への振替え金額となる。

「繰越利益剰余金勘定]

貸方合計 前期繰越¥423,000+損益勘定からの振替え金額¥385,000=<u>¥808,000</u> この金額が次期繰越となり、**期末繰越利益剰余金**の金額である。

[期首貸借対照表]

商品(繰越商品)の金額 借方合計¥2,046,000-現金¥376,000-売掛金¥428,000

-建物¥800,000=商品(繰越商品)の金額¥442,000

繰越利益剰余金の金額 資本金の金額 繰越利益剰余金勘定の貸方の前期繰越の金額である。¥423,000

貸方合計¥2,046,000-買掛金¥536,000-借入金¥200,000

一繰越利益剰余金¥423,000

=期首資本金の金額¥887,000

[資本金勘定]

貸方の前期繰越の金額は、期首資本金の金額である。¥887,000 貸方合計 前期繰越¥887,000+増資¥213,000=¥1,100,000 この金額が次期繰越となり、期末資本金の金額である。

[期末貸借対照表]

負債·純資産合計 買掛金¥666,000+借入金¥300,000+資本金¥1,100,000

+繰越利益剰余金¥808,000

= $\pm 2,874,000$

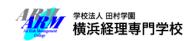
売掛金の金額 負債・純資産合計¥2,874,000は、資産合計と一致する。

資産合計¥2,874,000-現金¥369,000-商品(繰越商品)¥535,000

一建物¥1,000,000

=期末売掛金の金額¥970,000

第3問



6月1日 前月繰越高 900個 @¥620 ¥558,000

				•			
6月4日	掛け仕入						
(借)	仕	入	990, 000	(貸)	買掛金	(青森)	990, 000
6月6日	掛け返品(戻	し)					
(借)	買掛金(青森	Ŕ)	99, 000	(貸)	仕	入	99, 000
6月9日	掛け売上						
(借)	売掛金(広島	計)	1, 740, 000	(貸)	売	上	1, 740, 000
6月10日	掛け返品(原	戻り)					
(借)	売	上	240, 000	(貸)	売掛金	(広島)	240, 000
6月18日	小切手仕入						
(借)	仕	入	650, 000	(貸)	当 座	預 金	650, 000
6月24日	掛け売上						
(借)	売掛金(岡山	7)	1, 950, 000	····· (貸)	 売	Ŀ	1, 950, 000

Q商品の移動平均法による商品有高帳の記入について

(V) BU)	
数量	1,500個 @¥660 金額¥990,000
数量	900 個+1,500 個=2,400 個
金額	$\pm 558,000 + \pm 990,000 = \pm 1,548,000$
単価	
数量	150個 @¥660 金額¥99,000
数量	2,400個-150個=2,250個
金額	
単価	
数量	1,450個 @¥644 金額¥933,800
数量	2,250個-1,450個=800個
金額	
単価	¥644
数量	200個 @¥644 金額¥128,800
V// 🖂	900 伊 900 伊 1 000 伊
数量	800個+200個=1,000個
数重 金額	¥515, 200+¥128, 800=¥644, 000
金額単価	\$515,200 + \$128,800 = \$644,000
金額単価	
金額 単価 数量	¥515, 200+¥128, 800=¥644, 000 ¥644 1,000個@¥650 金額¥650, 000
金額 単価 数量 数量	¥515, 200 + ¥128, 800 = ¥644, 000 ¥644 1,000 個 @¥650 金額¥650, 000 1,000 個+1,000 個=2,000 個
金単数数金数金	¥515, 200+¥128, 800=¥644, 000 ¥644 1,000個@¥650 金額¥650, 000 1,000個+1,000個=2,000個 ¥644,000-¥650,000=¥1,294,000
金単 数金単	¥515, 200 + ¥128, 800 = ¥644, 000 ¥644 1, 000 個 @ ¥650 金額¥650, 000 1, 000 個+1, 000 個=2, 000 個 ¥644, 000 - ¥650, 000 = ¥1, 294, 000 ¥1, 294, 000 ÷ 2, 000 個 = ¥647
金単数数金単数	¥515, 200+¥128, 800=¥644, 000 ¥644 1, 000 個 @¥650 金額¥650, 000 1, 000 個+1, 000 個=2, 000 個 ¥644, 000-¥650, 000=¥1, 294, 000 ¥1, 294, 000÷2, 000 個=¥647 1, 500 個 @¥647 金額¥970, 500
	数数金单数数金单数数金单数量量額価量量額価量量額価量量額価量

6月分のQ商品の純売上高

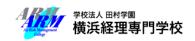
¥1,740,000(6月9日)+¥1,950,000(6月24日) —¥240,000(6月10日)=<u>¥3,450,000</u>

6月分のQ商品の売上原価 商品有高帳より

¥933,800(6月9日)+¥970,500(6月24日)-¥128,800(6月10日)=¥1,775,500

6月分のQ商品の売上総利益(粗利益) 純売上高-売上原価 で求める。

第4問



1. ウ

借方科目	金額	貸方科目	金額
賞 与 引 当 金	200, 000	普 通 預 金	300, 000
賞与	100, 000		

上記仕訳は、賞与¥300,000 (うち¥200,000 は、前期負担分)を普通預金口座から支払ったことを意味している。

前期末に前期負担分を計算した際は、以下のようになる。

借方科目	金額	貸方科目	金額
賞与引当金繰入	200, 00	0 賞 与 引 当 金	200,000

2. **工**

借方	科目	金額	貸方科目	金額
支	店	500,000	損 益	500,000

上記仕訳は、支店の当期純利益¥500,000を本店が記録したことを意味している。

支店の仕訳は、以下のようになる。

借	方	科	目	金	額	貸	方	科	目	金	額
損			益		500,000	本			店		500,000

3. 1

借	方 科 目	金	額	貸方科目	金	額
未払	法人税等		200, 000	納税準備金		200,000

確定申告を行い、前期法人税等確定額のうち未払分¥200,000 を納税準備金から納付したことを 意味している。

前期末に法人税が確定した際の仕訳は、以下のようになる。

借方科目	金額	貸 方 科 目	金額
法 人 税 等	$\times \times \times$	仮払法人税等	
		未払法人税等	200, 000

第5問

付記事項

仮受金の処理

-										
	(借)	仮	受	金	50,000	(貸)	売	掛	金	50,000

決算整理事項

1. 現金の処理

帳簿残高¥397,000

実際有高¥375,000

差 額\\ 397,000-\\ 375,000=\\ 22,000

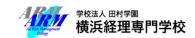
実際有高に合わせるため、現金の帳簿残高を減少させる。

不一致の原因は、水道光熱費の誤記入のため水道光熱費勘定を修正する。

¥86,000-¥74,000=¥12,000 水道光熱費勘定を増加させる。

残額は原因が判明しなかったため、雑益勘定または雑損勘定を用いて処理をする。

							·
(借)	水道光熱	費	12,000	(貸)	現	金	22,000
	雑	損	10,000				



2. 売上原価の算定

(借)	仕			入	275, 000	(貸)	繰	越	商	品	275, 000
	繰	越	商		260, 000		仕			入	260, 000

3. 貸倒引当金の見積もり

電子記録債権の期末残高¥230,000

売掛金の期末残高 ¥370,000-¥50,000 (付記事項) =¥320,000

貸倒引当金の見積もりの金額

 $(230,000 + 320,000) \times 2 \% = 11,000$

貸倒引当金繰入額

Y11,000 - Y7,000 = Y4,000

F					
(借)	貸倒引当金繰入	4,000	(貸)	貸倒引当金	4,000

4. 備品の減価償却費の計上

¥800,000÷8年=¥100,000

(借)	減価償却費	1 1 124 1	備品減価償却累計額	
	減 価 償 却 費		備品減価償却累計額	
	/配 1m 1負 大口 省		佣品减価負却 案計額	

5. 売買目的有価証券の評価替え

帳簿価額¥352,000

評 価 額¥380,000

差 額¥380,000-¥352,000=¥28,000 (有価証券運用益となる)

評価額に合わせるため、売買目的有価証券勘定を増加させる。

(借)	売買目的有価証券	28,000	(貸)	有価証券運用損益	28,000
-----	----------	--------	-----	----------	--------

6. 消耗品の未使用高

	(借)	消	耗	品	19,000	(貸)	消	耗	묘	費	19,000
--	-----	---	---	---	--------	-----	---	---	---	---	--------

7. 家賃の前払高(費用の繰り延べ)

(借) 前 払 家 賃 45,000 (貸) 支 払 家 賃 45,000			賃	家	払	支	(貸)	,	賃	家	14	נינו	(借)	
---------------------------------------	--	--	---	---	---	---	-----	---	---	---	----	------	-----	--

8. 利息の未払高(費用の見越し)

利息の計算 借入金の期末残高¥500,000×利率年4%×3か月÷12か月=¥5,000

	(借)	辛	±/.	利	自	5 000	(貸)	#	±/.	£II	自	5 000
į	(1百)	文	14	个リ	心	5,000	(頁)	不	1/1	个リ	心	5,000

9. 手数料の前受高(収益の繰り延べ)

(借)	受取手数料	25,000	(貸)	前受手数料	25, 000

10. 未払法人税等

当期の課税所得¥500,000×30%=¥150,000

(借)	法	人	税	等	150, 000	(貸)		75, 000
							未払法人税等	75,000